

(福) 梵珠福祉会 アップルハウス大釈迦

平成30年度事業報告

I 施設経営の概要

(1) 利用者の処遇

①基本的な生活習慣の育成、②社会的自立、③豊かな人間性の育成の3点を処遇目標として実践した。日々の生活、作業活動、行事などへの参加の実践をもとに、処遇目標を身につけさせることをねらった。

作業を中心としながら、社会生活の訓練を兼ねた行事を月1回程度実施した。

5月26日、土曜日出勤日に奉仕活動として、浪岡斎場～アップルヒル間の道路のゴミ拾いを実施した。約2時間程度の作業で軽トラ1台分のゴミが集められたのには利用者も驚いたようである。

6月に「ぶらり旅 in 浅虫」として「社会訓練」を実施した。浅虫水族館を拠点に数班に分かれて浅虫温泉において、食事や買い物を楽しんだ。これは、実体験を通して一般生活におけるスキルアップを図り、生活の充実を図ることをねらいとしている。

9月には、「アップルまつり」を開催し、地域に施設をアピールした。

大釈迦保育園、杉高児童館、中央児童館、吉野田児童館の演技発表、利用者の手話ソングの発表などで盛り上がり、地域の人々の温かい協力もあって成功裏に終えることができた。

11月には、アップルまつりの時に発表した演目をさらに練習し完成度を高めてチャレンジオンステージで発表することができた。

忘年会は12月15日「アップルランド南田温泉」で行った。

施設生活に変化を持たせるために、4月の「桜まつり見物」、2月の「雪灯ろうまつり見物」3月の「年度末お楽しみ会」などの季節行事を実施した。

(2) 利用者の動向

- ・1名の新規契約があり、4月当初は定員30名に対して利用者27名でスタートした。前年度より収入面でもかなり改善できた。
- ・定員の未充足は施設の存亡に係る問題であり早期に解消されるべき課題であるが、青森駅からの送迎バスの利用者が多く、現状でも補助席を使用しなければならない。送迎時の安全を考慮すると、解決すべき問題である。

(3) 工賃支給状況

年度	h 23	h 24	h 25	h 26	h 27	h 28	h 29	h 30
在籍人数	20人	21人	22人	24人	21人	25人	26人	27人
平均工賃	8,859 円	10,219 円	10,954 円	11,026 円	11,974 円	12,490 円	11,869 円	10,860 円

- ・平成30年度は月額平均工賃12,500円という目標を立てた。
- ・年間の利用日数が半分ほどしかない利用者が複数いるなど、欠席が多かったことも影響して平均としては低めとなった。

(4) 今後の課題

- ・経営安定のための最大の課題は定員の確保である。他施設からの移籍等は期待薄であることから、養護学校等からの実習受け入れからの新卒者の獲得と既存利用者の安定を目指す。
- ・そのためにも既存利用者・保護者の満足度を高めることは急務であり、作業、工賃、余暇活動のバランスを適切に変えていく必要がある。
- ・利用者の将来への見通しや安心を与えるため、グループホームの設立も検討したが、入所施設などのバックアップ施設がないため設立は困難であるとの結論に至った
- ・旧青森市内からの利用者増に伴い送迎バスの乗車定員等の問題が発生し、施設の定員削減などの見直しを含めて早急に解決すべき課題である。

II 職員及び職務分担

- ・職員の人数、配置等については前年同様である。ただ、支援員が1名2月末で自己都合により退職したため、4月より1名補充された。
- ・職員の外部研修の機会を与えるとともに、社会福祉主事や社会福祉士等の資格取得に際しては経費の一部を助成している。
- ・毎週1回は職員研修の日を設定したが、時間の確保が容易でなかった。その対策として職員朝会や職員集会を活用して、利用者の支援に係る情報交換等にあてた。
- ・家庭連絡帳や個別記録ノートの有効に活用し職員相互の情報の共有化をすすめている。

Ⅲ 地域・他団体との交流

(1) 施設間交流

- ・りんどう苑まつり出店参加・・・売上 15,310 円(ジュース・花苗・米・藍染め)
- ・茜まつり出店参加・・・・・・売上 14,100 円(もち米・桃・枝豆・藍染め)
- ・ワークまつり出店参加・・・・・・売上 18,300 円(もち米・桃・藍染め)
- ・津麦園まつりへの出店参加・・・売上 23,200 円(ジュース・米・なし・りんご・藍染)

(2) 養護学校

- ・めいせい祭出店参加・・・売上 12,540 円(ジュース・もち米・なし・りんご)

(3) アップルまつりへの賛助出演及びボランティア

- ・賛助出演・・・・大釈迦保育園・中央児童館、吉野田児童館、杉高児童館
- ・ボランティア・・・・保護者・地域住民

- ・賛助出店・・・チョコ浪岡・みらいの里・ワークキャンパス大鰐・ワークショップ大鰐
・ワークランド茜・こだわりの店つぼみ・アップル友の会 豆や

(4) 現場実習の受け入れ状況

- ・6月・・・・青1高養 3年 1名:6/18~6/29
- ・9月・・・・青1高養 1年 2名:10/1~10/5

(5) その他

- ・8/26 県障害者スポーツ大会悪天候のため急きょ参加取りやめとなった。
- ・9/29 中央地区スポーツフェスティバルへの参加
- ・11/20 チャレンジオンステージ出演(出演7回目)

(6) 県内福祉ショップ等への出店

- ・福祉の店「うらら」・・・・年間売上 10,916 円(ジュース販売他)
- ・こだわりの店「つぼみ」・・・・年間売上 36,643 円(枝豆・アスパラ・雑果樹販売他)
- ・道の駅「アップルヒル」・・・・年間売上 505,992 円(枝豆・アスパラ・雑果樹・米他)

(7) 他団体との交流

- ・アップル祭りへの参加・・・・大釈迦保育園(遊戯)、
中央児童館(遊戯)、杉高児童館(一輪車他)
吉野田児童館(よさこいソーラン)

(

IV 就労事業

【A】 栽培部門

(1) 野菜・草花栽培・・・トウモロコシ、枝豆、アスパラガス及び各種の草花の栽培は、収入は多くないが利用者の活動場面が多くそれなりの成果が得られた。

① 草花栽培

・販売量は少ないが、苗づくりや苗の移植など、たいていの利用者が作業に参加できるのでよかった。

② アスパラガス

・順調に収量が上がっている。次年度以降も生産が期待できる。
依然として雑草の対策が十分でなく除草剤の利用をさらに研究するが必要である。
・現在収穫中のアスパラガスは年数が相当立っており、更新用として約 1500 本の苗を育苗し植付けをした。次年度以降の収穫が期待できる。

② 枝豆

それなりの収量があり、利用者の作業機会を作ることができた。また、天候にも恵まれ生育もよく収量も多かった。今年度は、枝豆用としての販売が多かった。
冬期間に大豆の選別作業や、自家用味噌作りのため大豆用として作付け面積を若干多くしていきたい。

④ トウモロコシ

作付け面積を少なくした。食害により販売できる良品が少なかった。

⑤ 藍

播種・育苗が不十分で乾燥葉の収量が減少した。
栽培においては、工夫が必要である。播種を早くし、収穫期間をできるだけ多くしていきたい。
藍染め製品（利用者が藍工房で実習制作した）の販売はイベント時好調であった。

(2) りんご栽培

- ・収穫数が例年なみで良品も多く価格も安定していた。雑果樹を含めた販売額は約 650 万円であった。また、ハネ物は知人を通して東京方面で多く販売できたので助かった。
- ・経費が約 490 万円であった。経費のほとんどが人夫賃(約 260 万円)や資材費(約 170 万円)であり、機械修理やその他の経費は約 60 万円であった。
- ・収穫期は比較的天候に恵まれ、利用者作業に多く使うことができた。
- ・枝集め、摘果、葉とり、収穫など利用者に作業訓練して自家労力で対応できるよう

にし、できるだけ外部の作業委託を少なくし支出を抑えるようにしたい。

- ・雑果樹（もも・シガール・なし・ネクタリン・ゼラルクーク）の販売は、道の駅や障害者施設での売れ行きが好調であった。

(3) 米販売

- ・前年同様近所の農業者から米を買い入れ、道の駅販売、施設販売及び給食用に利用した。

【B】室内作業部門

- (1) ファスロンキャップ作業・・・年間を通して継続して実施でき、誰でもできるメリットはあるが、単価が安いのがネックである。
ただ、悪天候時や冬季間の作業を考慮すると、室内作業は重要である。
新規作業開拓も含めて検討する必要がある。
- (2) 藍染め・・・今年度は、職員の関係で藍工房へ出かけての藍染めは実施しなかった。
前年までに染め上げたものを、ストール・ハンカチ・藍染めの小物等製品に作り上げ販売した。各施設での販売やイベント時の販売は好評であった。
ただ、材料費は利用費など出費が多いのが課題である。

【C】ジュース加工・販売部門

- ・利用者の作業への参加は良くできた。搾汁補助、原料・ビンなどの洗浄、選果、びん詰め・缶詰作業などの加工作業以外にも、ラベル貼り、箱詰め、運搬等の製品化作業・補助作業で多くの利用者が参加できた。
- ・加工作業は技術や熟練が必要なことから、人員が固定化する傾向があったが、当初から係っていた利用者が数名退所した関係で未経験者の訓練をし、だんだん慣れてきた。
- ・日本セルフセンター等大口注文先を確保できず、販売額は伸び悩みの状態である。
新たな販路開拓が急務である。
- ・受託加工は、利用者4～5名、職員1～2名、パート2名でおこなった。
- ・りんごの価格高騰の影響で加工りんご自体が少なかったためか加工委託数が減少した。新聞広告等で宣伝すれば受託は増えると思われるが、生産数が増えれば、作業員を増員するしかなく、人件費に影響がでるため、生産能力とのバランスも考慮しなければならない。

【 就労関係販売内訳 】

順	種別	販売額	備 考
1	ジュース製造販売	2,240,858	販売 1,179,778 円 受託加工 1,061,080 円
2	米	562,780	道の駅販売・施設販売
3	りんご	6,333,962,	弘果販売 3,686,640 永井商会 1,728,097 施設販売 185,600 県外販売 720,884
4	雑果樹	84,956	モモ・初刈り・なし・シュガー・フル
5	園芸野菜	470,460	アスパラ 142,586 枝豆・大豆 268,944 円 トウモロコシ 26,192 円 花苗 18,604 円 藍・藍染め 146,900 円 その他の野菜 13,880 円
6	受託作業	415,415	ファスロンキャブ 120,873 円 農作業、除雪作業 295,830 円
7	その他施設販売	182,248	施設直販、りんどう苑まつり、アップルまつり等
	合計	10,290,679	

平成30年度事業及び行事実施状況

月	月日	実施した主な事業・行事等
4	1	出勤日 入所式・歓迎会(新利用者1名) 職員着任(石村早苗)
	3	利用者健診開始(津軽医院)
	10	アスパラガス肥料ふり
	13	りんご園農薬散布① ハイエースバン納車(新車購入)
	16	職員健診(浪岡病院)~4/27
	14	ダスキン清掃(シャワー室・換気扇) りんご園農薬散布②
	18	花見の会(弘前公園:午後から)
	21	出勤日・参観日(全体会・親の会) 農薬散布②
	23	藍の播種①
	26	社協交流会
	27	マメコバチ引き取り・設置
	30	農薬散布③ 草花・カボチャ播種
5	5	藍播種②
	7	個別面談開始~
	10	りんご園農薬散布④
	11	藍の播種② ネギの播種 マルチ撤収
	14	りんご園肥料ふり
	18	枝豆(湯上がり娘)播種①
		梵珠福社会 監事会、理事会
	20	りんご園農薬散布⑤
	23	杉高児童館草刈り
	24	ジャガイモ植付け
		社協交流会
	26	出勤日 奉仕活動(浪岡斎場~アップルヒル間の道路ゴミ拾い)
	28	藍の定植①
	29	りんご園農薬散布⑥
30	アスパラ定植	

6	5	りんご実すぐり開始
	7	りんご園農薬散布⑦
	8	枝豆（赤ひげ）播種①
	9	ダスキン清掃（窓）
	16	評議員会、理事会
	17	りんご園農薬散布⑧
	20	枝豆（湯上がり娘）定植②
	14	りんご園実すぐり（人夫
	22	社協交流会（午後）
	23	ぶらり旅浅虫温泉
25	枝豆（赤ひげ）播種② トウモロコシ播種①	
26	実習生1名 りんご園農薬散布⑨ 枝豆（赤ひげ）定植①	

7	6	りんご園農薬散布⑩
	8	りんどう苑まつり出店
	19	杉高児童館草刈り②
	20	りんご園農薬散布⑪
	24	藍の葉取り開始
28	出勤日	
8	2	職員会議
	4	りんご園農薬散布⑫
	6	消防点検
	7	大釈迦保育園薬剤散布
	13	お盆休み～8/15
	18	ダスキン清掃（厨房）
	19	りんご園農薬散布⑬
	22	枝豆（湯上り娘）収穫開始
26	県障害者スポーツ大会（台風のため不参加）	

9	2 4 5 9 14 15 19 26 28 29	茜まつり出店参加 杉高児童館草刈 台風 21 号通過 落下りんご 30 箱 ワークまつり出店参加 アップルまつり準備 アップルまつり プレマ会 イオン監査 枝豆 (赤ひげ) 収穫開始 りんご (トキ) 収穫開始 りんご (涼香の季節収穫) 中央地区スポーツフェスティバル
10	1 3 7 11 20 21 22 26	臨時休業 (台風 24 号通過のため) 紅玉収穫 台風 25 号通過 浄化槽検査 焼肉会 ジョナゴールド収穫 津麦園出店参加 社協交流会
11	1 5 10 11 20 22 26	王林収穫 ふじ収穫 めいせい祭 廃プラ回収 チャレンジオンステージ 社協交流会 ジュース加工開始
12	7 8 15 25 26	法人指導監査 ダスキン清掃 忘年会 (アップルランド南田温泉) クリスマス会 (インフルエンザ流行で中止) インフルエンザ多数のため 12/26~28 施設閉鎖
1	4 19	仕事始め 新年会「おやつ作り」

2	9 16 25	雪灯籠まつり見物 ダスキン清掃 生産就労部会研修会
3	9 13 22	ボウリング大会 雪室りんご掘り出し お楽しみ会